



株式会社テクミサワ

TMC

CORPORATE PROFILE



エコアクション21



ISO9001
JET-0421

MS
JAB
QMS
CM013



TEC MISAWA

株式会社テクミサワ

CONCEPT

部品じゃない 作品だ！



当社が作り出す製品には、

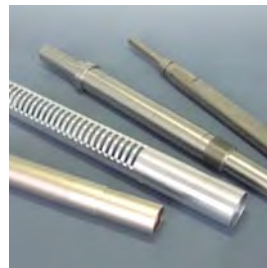
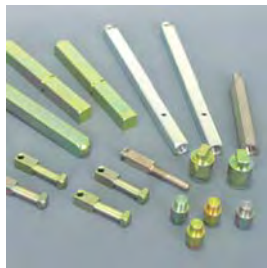
最新のテクノロジーを駆使して大量生産するモノもあれば、

職人が手作りする一品モノもあります。

どちらも組み込まれる機械にとって無くてはならない大切な作品です。

先端技術を柔軟に取り入れ、品質の向上とコストダウンを目指しながらも、

職人としてのプライドと初心を忘れずに歩み続けて参ります。



FOREWORD

ごあいさつ

創業以来、精密切削一筋に情熱を注いで参りました当社もおかげさまで営業年数半世紀を迎えることが出来ました。

ここ数年は企業間系列にとられないフリーランス的な経営で顧客を増やし、建築資材から医療部品に到るまで多ジャンルに及ぶ加工の実績を上げてきました。

それらによって培われたノウハウは図面だけでは表現出来ないお客様の要求するところの製品特性を実現しています。

また品質面では品質保証の国際規格ISO9001を認証取得、環境面では環境省が制定するエコアクション21を取得するなどお客様に安心して当社の製品を使用していただける仕組みも構築しました。

今後の展開といたしましては得意とする多品種小ロット生産に更に磨きを掛けるとともに常にお客様の立場に立って、品質を維持しながらも低コストで済むような方法を提案して行く、いわゆる提案型企業を目指しています。

「我々が作っているのは部品ではない作品だ！」を合言葉に、プライドを持ち、社員一丸となって今後も精密切削に取り組んで参ります。

以上、ここ実に風光明媚な信州は伊那谷より全国のお客様に向けてご挨拶申し上げます。



株式会社テクミサワ
代表取締役社長

三澤 俊 明



生産設備

最新鋭の機械設備に加え、独自の技術とノウハウで、優れた生産ラインシステムを確立しています。

また、40年の長きに渡り活躍してくれたカム式自動旋盤なども、「職人技」で特殊ニッチ部品などを生み出すために今も現役で働き続けています。

一つの部品、一つの機械への愛着もテクミサワのクラフトマンシップの表れです。



NC自動旋盤約50台は20～30歳代を中心とするオペレーターたちによって稼働され、複合加工、背面加工を中心にφ0.5～φ45までのサイズをカバーしています。



新型CNC自動旋盤

重切削に耐えうる仕様の新設備はステンレスを始めとする難削材の加工に威力を発揮します。



CNC複合自動旋盤

タレット式自動旋盤によって、より複雑なワーク形状の加工に対応しています。

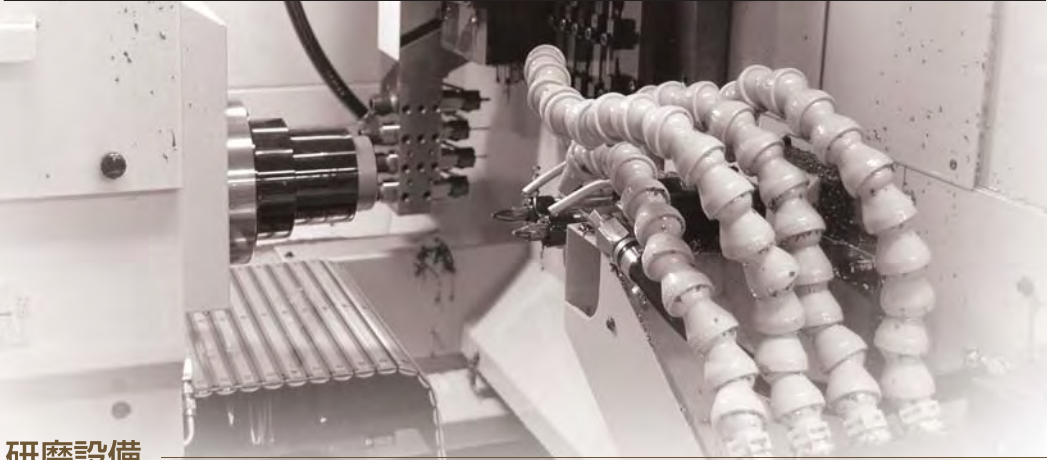


CNC自動旋盤

最新鋭のパソコン搭載型自動旋盤は、段取り時間と加工時間の短縮を可能にします。

第一製造単体部品部門

機械名	型 式	能力	メーカー	台数	主要生産
NC自動旋盤	E32	φ32	シチズン(株)	2台	複合加工部品
//	E25	φ25	//	1台	//
//	F25	φ25	//	1台	//
//	A20	φ20	//	2台	//
//	E20	φ20	//	1台	//
//	C32	φ32	//	1台	//
//	L16 , L20	φ20	//	16台	複合加工部品背面可能10台
//	B12 IV	φ12	//	15台	複合加工部品背面可能12台
//	SH12	φ13	スター精密(株)	2台	挽き物部品
//	RNC16	φ16	//	1台	//
//	SR20	φ20	//	1台	複合加工部品背面可能
//	BNC12	φ12	(株)ミヤノ	1台	挽き物部品
//	BNC50, BNC75	φ20	//	2台	//
//	BND-34S	φ34	//	1台	複合加工部品
//	LE12B	φ45	//	1台	//
自動旋盤	SP-12	φ12	アズマ島本(株)	10台	挽き物部品
//	DL-15H	φ18	大和精機(株)	1台	//
//	D-105	φ15	//	1台	挽き物部品パイプ専用
//	DC-8H	φ10	//	1台	挽き物部品
//	DL-802	φ11	//	1台	//
NC旋盤	NUCBOY-8GL		(株)江黒鉄工	1台	//



研磨設備

金属製品のバリ取り、光沢仕上げには欠かせないバレル研磨の設備を当社では兼ね備えています。お客様の要望に応え製品の形状に合わせたメディア（砥石）を各種用意し対応しております。



回転中バレル研磨機

回転式のドラムの中に製品とメディアを入れ研磨します。主に光沢バレルなどの精密部品の表面仕上げように使います。



振動式バレル研磨機

タンクの中で製品とメディアを振動させることによって研磨します。比較的大きめな製品の頑固なバリ取りに有効です。

品質管理

生産性向上に積極的に取り組み、製造ラインを取り巻くサポート体制にも力を入れ、高品質な製品をお約束します。ISO9001も認証取得し、さらなる品質 保証に努めています。



CNC画像測定器

より高精度で微細なワークの寸法測定に威力を発揮します。自動測定も可能です。



OAシャフト測長機

全長600mmまでのシャフト全長、穴々間距離、溝幅、溝々間距離を正確に測定します。



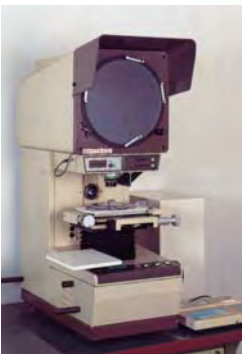
表面荒さ形状測定器

仕上げ面の表面荒さデータ（Rmax、Ra等）および輪郭形状を測定します。



真円度計

真円度・同心度・直角度・平行度を測定します。



精密万能投影機

テーパー角度、ねじ山角度などを正確に測定します。



二次元測定顕微鏡

微細なワークの寸法測定に威力を発揮します。

洗浄設備

当社では環境への配慮から製品の脱脂には有機溶剤を一切使用せず、炭化水素系溶剤を使用し洗浄、脱脂を行います。



超音波洗浄機

真空超音波洗浄からペーパー真空乾燥まで行います。

排水処理装置

当社では環境への配慮から、バレル研磨などで発生した排水を当設備にて完全に浄化し、自然界に放出しております。



エコアクション21

「子どもたちの明るい未来」のための取り組みです。

高性能の「浄水器」を設備しました。この浄水器は「油分」も浄水する性能を有していますので、排出される水はとてもキレイです。

工業団地では数値基準をクリアしていれば「濁った水」を流しても問題はありますが、「環境との調和」を考慮に入れた上での設備投資が必要と考えました。

社員の心がけ

油をなるべく出さないことを心がけています。

切削油は必要以上にかかるとその一部がミストとして空気中に飛散します。「その必要以上」の油を省き、本当に必要な量を「極所」にだけ使用するよう指導していますが、まだまだ完全とは言えませんので今後も徹底していきます。

今後の取り組みと改善点

ハード面も必要に応じて充実させつつ、ソフト面をさらに積極的に改善していきます。

切削油に限らず「ムダを省く」ことは「環境面」だけでなく「品質の向上」や「経営の改善」にもつながります。

「エコな取り組み」が会社経営に対して「正の効果」生むことを廻りにアピールすれば、環境設備の投資に二の足を踏んでいる企業も前に進むかもしれませんし、次第に大きな流れになって「相乗効果」を生むことも考えられます。

「目先の利益」よりも「その先の繁栄」と「自然との共生」をテーマに「エコな取り組み」をさらに一歩進めていきます。

会社概要

商号／株式会社 テク・ミサワ

設立／昭和32年5月5日

所在地／長野県伊那市福島303

TEL：0265－72－2918(代)

FAX：0265－78－1496

E-mail：misawass@clio.ne.jp

Web：http://techmisawa.jp/

資本金／1,000万円

代表者／代表取締役社長 三澤俊明

従業員数／20名

事業内容／精密部品製造販売

売上高／2億5千万円

主要取引先／リズム時計工業(株)

(株)日本電産サンキョー

北陸電気工業(株)

タカノ(株)

(株)日本ピスコ

リンナイ精機(株)

ティディエス(株)

(株)山本電機製作所

グループ関連企業／

学校法人三澤学園

伊那ビジネス専門学校

三澤カルチャーセンター

沿革

昭和32年5月 創業開始

昭和45年1月 有限会社三澤製作所となる

平成3年5月 新社屋完成

平成8年8月 株式会社テク・ミサワとなる

平成13年4月 ISO9001認証取得

平成13年11月 代表取締役社長に三澤俊明就任
会長に三澤岩視前社長就任

平成23年5月 エコアクション21認証取得

品質方針

- ①顧客第一に徹し、全社活動により、要求事項の達成と、品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善する。
- ②品質方針達成のため、品質目標を設定し、適切性の維持を含め、レビューする仕組みを作り実施する。
- ③製品の製造段階から、お客様に安心していただける様な環境作り（5S活動）を推進する。
- ④設定した品質方針を全員が理解して行動する。

環境方針

環境理念

当社は中央アルプスと南アルプスに囲まれた風光明媚なここ信州は伊那谷より全国のお客様にクリーンでかつ安全、品質的にも優れた切削部品をコンスタントに供給するとともに、全社員をあげて環境負荷低減に配慮した企業活動に継続的な取り組みを果たす事を目指します。



テクミサワは積極的に環境保全・改善に取り組んでいます。

企業に必要な環境に対する姿勢

当社に限らず伊那谷の企業は豊かな緑の中にあるため「環境との調和」は非常に大切です。社屋や工場の外観なども建物単体が目立つというのではなく、廻りにとけ込みマッチするようなデザインが良いと言えます。また、「環境との共生」のために全社的な取り組みが必要と考えています。

設備面での取り組み

工業廃液の処理の際、以前は脱脂のために「有機溶剤」使っていましたが、これはフロンを発生する種類のものであったため、自然に優しい「炭化水素系」の溶剤に変えました。

また、廃液の処理は業者に委託していましたが、洗浄機内で濾過できるシステムにしましたので基本的に廃液は出ません。濾過された不純物は業者に処理を依頼しています。これだけでも環境に与える負荷はだいぶ少なくなります。

また、当社はバレル研磨などで出た濁った水を「真水」に戻す

